



## 特集

## 佐世保から 未来へつなぐ エコ暮らし

2月は、寒さの影響で最もエネルギー使用量が増加する月であり「省エネ月間」として省エネ活動の重要性が高まる時期です。

「省エネ」と聞くと、電気代やガス代の節約といった家計の負担軽減を思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、省エネは家計の節約だけでなく、未来の生活環境を守るために必要な温室効果ガスの排出削減を担う重要な取り組みです。

今回の特集では、省エネと地球温暖化の関係や「カーボンニュートラル」の推進の取り組み、無理なく実践できる省エネ方法を紹介します。

## 本市の現状と目標

地球温暖化は、私たちの暮らしと深く関わる身近な課題です。その主な原因である温室効果ガスの排出削減は、行政や事業者だけでなく、市民一人一人の行動が大きな力となります。本市の現状と、将来に向けた目標について紹介します。

## 本市における温室効果ガス排出の現状

本市における温室効果ガスの排出は、電力消費と自動車からの排出が全体の約7割を占めています。

温室効果ガスとは、地球の気温を一定に保つ働きを持つガスのことで、主に二酸化炭素やメタンなどがありますが、エネルギーの使用に伴ってこれらのガスが増加し、地球温暖化の進行に影響を及ぼしています。十分な対策を講じなければ、気温の上昇によって、動植物の生息地域の変化や農作物の品質低下・生育不良など、農業や漁業、観光業への影響が懸念されます。また、熱中症患者の増加や感染症リスクの高まりなど、市民の健康に深刻な被害を及ぼすことがあります。

この現状を改善するため、温室効果ガスの排出量を減らす取り組みが求められています。



## カーボンニュートラルの実現を目指して

本市は2030年までに市域からの温室効果ガス総排出量を、基準年である2013年の1,879千t-CO<sub>2</sub>から1,014千t-CO<sub>2</sub>へ削減(基準年比46%減)し、2050年には温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの実現を目指しています。

今後、温室効果ガス排出量を削減していくためには、事業者などの取り組みに加え、市民一人一人の行動の積み重ねが重要です。佐世保の環境を守るために、省エネ活動を通じて温室効果ガスの排出削減に取り組み、カーボンニュートラルを目指しましょう。

※カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量から森林吸収量などを差し引いて、排出量ゼロとすること。



## 佐世保市環境基本計画

佐世保市環境基本計画は、「豊かな自然と暮らしが未来にわたって続くまち」の実現を目指し、市民や事業者、関係団体、市などが力を合わせて、良好な環境を守り育てていくための基本となる計画です。

本市では、この計画に基づき、温室効果ガスの排出量を減らすため、私たちの暮らしの中で実践できる取り組みを進めています。



市 HP (佐世保市環境基本計画)

## 基本目標

- 自然環境の保全
- 安全・安心な生活環境の保全
- ごみの減量・資源化
- カーボンニュートラルの推進
- エコライフ・環境教育の推進

## カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

- 省エネルギー
- エネルギーシフト
- 再生可能エネルギー導入
- 廃棄物・吸収源対策・その他温室効果ガス排出削減

## これまでの主な取り組み

## ゼロカーボンシティ宣言と推進体制の整備

本市では、市域からの温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」への挑戦を令和4年に表明しました。

また、令和5年8月には「ゼロカーボンシティ推進室」を設置し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進しています。

※ゼロカーボンシティとは、カーボンニュートラルを目指す宣言をした自治体のこと。



## EV(電気自動車)充電器の設置



民間企業との連携協定によるEV充電器の公共施設などへの設置やエコドライブの推進を行っています。

設置場所 九十九島パールシーリゾート、天空の宿山暖簾、佐世保中央公園、道の駅させぼっくす99、エコスパ佐世保、地方卸売市場水産市場、九十九島動植物園、展海峰、総合教育センター、各地区コミュニティーセンター(小佐々地区、広田地区、相浦地区、吉井地区)  
※令和7年12月時点。

料 金 1時間につき300円(税込み)

※道の駅させぼっくす99は、1分につき44円(税込み)。

## 置き配の普及啓発



宅配便の再配達を減らすことでの温室効果ガスの排出量削減すること、また「物流の2024年問題」を解消するため、令和6、7年度で市内4,500世帯へ置き配バッグ「OKIPPA」を無料で配布しました。

## その他

- 「させぼエコラボ」を活用した情報発信の充実および市民・事業者の取り組み促進
- 再生可能エネルギーの導入と電力自家消費促進に向けた太陽光発電設備等設置補助
- 家庭の電力消費量削減を目標に重点支援地方交付金を活用した省エネ家電購入促進
- 家庭用EV充電器を設置した市民を対象に、させぼeコインで使える「させぼeエコポイント」の発行など

## 気候変動若者会議させぼ

「気候変動若者会議させぼ(YACC)」とは、させぼエコラボが実施する事業の一つで、佐世保市が掲げる「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、高校生や大学生などの若者が気候変動について学び、アイデアを形にするチームです。

## 環境について学生目線で伝えたい



自分たちが学生であることを生かし、同世代向けのイベントなどを行っています。今年度の活動のゴールは1月31日(土)に博物館島瀬美術センターで開催するイベントです。市民の皆さんに環境について知ってもらい、意識を持っていただけるように、環境活動に関する展示や事業者に協力いただいて実施するワークショップなどを予定しています。

## 食を通じて環境を考えるきっかけを

毎年度開催するイベントにはテーマを設定しており、今年度のテーマは「食ツーリズム」です。

あまり知られていない地元食材と、九十九島などの観光資源とを結び付けることで、地産地消による新たな経済効果を生み出し、温室効果ガスの排出削減につながる

## させぼエコラボ

佐世保市地球温暖化防止活動推進センター「させぼエコラボ」は、気候変動若者会議させぼを設立するなど、ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や事業者の皆さんのが環境について学び、行動するための拠点です。環境出前講座やイベント、相談対応など、誰もが気軽に参加できる取り組みを行っています。

また、「させぼエコラボ友の会(LINE)」では、講座やイベント情報に加え、エコ活動につながる情報もお届けしています。



させぼエコラボ HP  
(させぼエコラボ友の会LINE)

のようなメニューと仕組みを考えました。こうした取り組みを通じて、市民や観光客に環境問題への意識を高めてもらえるのではないかと考えています。

## 暮らしの工夫が、環境にやさしいまちづくりにつながる

自家用車の利用が多いと感じていて、温室効果ガスの削減は取り組みやすいポイントだと考えています。また、都市機能を集約し、公共交通機関を軸とした効率的で持続可能な都市構造を目指すまちづくり(コンパクトシティ)の考え方や、フードロス削減の取り組みに関心があります。さらに、ごみの削減が、ごみを燃やす際に必要となるエネルギーの削減につながる点にも注目しています。

(取材日 12月19日)



## 広報させぼプラス

気候変動若者会議させぼの会議の様子やさせぼエコラボが主催したイベントの様子などを動画で紹介します。



YouTube「佐世保市チャンネル」  
広報させぼプラス

## 家庭からはじめる10の取り組み

私たち一人一人の生活を見直すことが、地球温暖化の防止につながります。家庭や職場で無理なく実践できる省エネ方法「家庭からはじめる10の取り組み」の中から今日からできるものを3つ紹介します。

## ● シャワーのお湯は小まめに止め、

1分減を目標に！



お湯を使う時にエネルギーが発生しています。体を洗っている間はお湯を止めましょう。

(家族全員が1日1分減らした場合)

▶ 年間 約29kg-CO<sub>2</sub>の削減

▶ 年間 約3,300円の節約

## ● 使っていない照明は小まめに消灯！1つの部屋で家族団らん



誰もいない部屋の照明を消す他、家族が同じ部屋で過ごすことで、冷暖房も節約できます。

(点灯時間を1日1時間短縮した場合)

▶ 年間 約4kg-CO<sub>2</sub>の削減

▶ 年間 約280円の節約

QRコード  
市HP(家庭からはじめる10の取り組み)

## ● 車の運転はふんわりアクセルなどのエコドライブを！



車の運転は、ふんわりアクセルや加速の少ない運転、早めのアクセルオフを心がけましょう。運転マナーを守ることがエコドライブにつながります。

▶ 年間 約304kg-CO<sub>2</sub>の削減

▶ 年間 約18,730円の節約

## させぼデコ活マンスリーアクション

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民の皆さんのが「具体的に何をしたらよいか」を毎月のテーマに沿って取り組む活動「させぼデコ活マンスリーアクション」を紹介します。

※デコ活とは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた言葉。

## 2月のテーマ

## エネルギーを節約しよう！

～芯から温まる WARM BIZ に取り組もう！～

ウォーム ビズ  
WARM BIZとは、過度な暖房に頼らず、冬を快適に過ごすライフスタイルのことです。衣食住の工夫で取り組めます。

## 「衣」の工夫

● マフラー、手袋、レッグウォーマーの活用など

## 「食」の工夫

● 冬が旬の食材、根菜類、ショウガなど食材にこだわって体を内側から温めるなど

## 「住」の工夫

● 窓断熱の工夫や湯たんぽ、毛足の長いスリッパ等の効果的な活用など

※過度な節電で我慢し過ぎないようにしましょう。

QRコード  
市HP(家庭からはじめる10の取り組み)

その他のさせぼデコ活マンスリーアクション  
CO<sub>2</sub>の少ない製品・サービス等を選ぼう！  
～公共交通機関を使ってスマートムーブ！～

## 1人が1km移動する際の二酸化炭素排出量

自家用車	バス	鉄道
127g	63g	17g

公共交通機関は自家用車より二酸化炭素の排出量が少なく、環境にやさしい移動手段です。また、公共交通機関を利用すると、徒歩や階段利用が増えることで健康面にも良い影響があり、マイカー利用を減らすことは渋滞の緩和にもつながります。

※出典：国土交通省 輸送量あたりの二酸化炭素の排出量(2023年度)。